私がデザインした自動販売機

現在、自動販売機は日本だけでなく、世界中に広がっていると言えるでしょう。学校をはじめ、ショッピングセンター、通りなどでますます自販機が多くみられるようになってきました。その上、自販機の種類は言うまでもなく、機能も増えています。しかし自販機は利点もあれば、問題点もあります。もし私が自販機をデザインするとしたら、問題が少ない自販機を作りたいと思います。

まず、便利な所に置いてあることは自販機の良い点の一つですが、大きさのせいで場所を取ったり、外観が周りに似合わなかったりすることが時々人々に迷惑をかけます。ですから、私は小型の自販機をデザインします。自販機の中に商品を多く入れておくより毎日のように改めて新しい商品を入れた方がいいと思います。そしたら、商品の新鮮さが保持できますし、自販機が壊れた場合も早めに気がついて、直すことができます。人の仕事が増えるかもしれませんが、エネルギーの利用という点から考えると、コストが減るというのも事実です。

私は大学の校庭に置く自販機を作りたいので、樹木に似合う形と色をしている自販機をデザインします。例えば、商品の画像の代わりに綺麗な木や花や葉っぱのパターンを使います。しかし商品を宣伝することは元々自販機の良い点の一つですから、それができるために自販機の前側をガラスで作ります。外にありますから、栄養ドリンクや様々な飲み物を自販機に入れて、持ちやすい形で売りたいと思います。もちろん、ひいたばかりの豆で入れるコーヒーに好きな量の砂糖やミルクを加えた後でコップで出す選択もあります。そして、自販機が売っているものはほとんど健康にとって良くないということに対して、自販機に色々な安くて美味しいフルーツジュースやミルクセーキを入れ

ます。それから、周りのゴミを増やさないように、自販機の隣にゴミ箱を置いておきます。

自販機の最も大事な特徴は便利さに違いありません。ですから、私がデザインした自販機は学生カードが使える上に、音声で注文できる自販機です。そして、コーヒーなどを入れている間に音楽が流れます。なるべく学生が楽しみながら簡単に使える自販機を作ってみたいです。